

## これまでに出された神奈川県気候変動適応に関する有識者等検討会議の意見

## ＜適応センター関連のみ抜粋＞

## 【第1回】

- ・不確実性が高い情報については、適応センターが自らデータを集めて確信度を上げていく作業も必要である
- ・研究者のシーズと行政のニーズのマッチングは重要であるが、中々うまくいっていない。適応センターが間に入って翻訳してもらえると良い。
- ・県内企業が進出している地域（県外や国外）の情報についても必要なので、適応センターを中心に集める必要がある。

## 【第2回】

- ・反温暖化論者の論調をマスコミが取り上げている事例もあり、行政が発信する温暖化の状況を世の中に理解してもらえない可能性もある。分野別だけでなく共通の基盤として、普及啓発についてもしっかり進めてほしい。
- ・台風15・19号は台風としては、珍しいものではないが、地球温暖化が進むと強くなるおそれがあるので、その点をしっかりと伝えていく必要がある。また、本当に役立つ情報として、定性的ではなく定量的に伝えていくことも重要である。
- ・次のステップとして、定量的な情報に基づき、施策の優先順位を考えていくことも考えてほしい。